

■7月2日に発生した立川市へのパラシュート落下について

1. 原因は何か。

パラシュート降下訓練中、落下傘兵のメインパラシュートが絡まったため、安全に着地するためにメインパラシュートを切り離し、予備パラシュートを展開しました。パラシュートは稀に、索の不具合やパラシュートを展開する際の姿勢が正しくない等、様々な理由からうまく展開しない可能性があります。

2. 再発防止対策はどんな事を行っているか。

全てのパラシュートは、正常かつ安全に展開する確率を最大限にするために、人の手によってたたみ、点検を行います。それに加え、運用を行う部隊に対して安全の重要性を再度強調します。我々は、日本の防衛を支援するにあたって飛行運用技術の維持向上をはかると同時に、周辺地域への影響を最小限に留めるために、今後も我々のトレーニングや飛行運用に対する安全対策を改善する方法を模索し続けます。

3. 基地の外に落ちたパラシュートの備品の大きさ・重さについて教えてください。

広報部で確認が取れ次第、情報を提供します。

4. 今回の降下訓練で使用されたパラシュートの型について教えてください。

当該訓練において使用されたのはRA-1型のパラシュートです。詳細は下記のウェブサイト（URL）をご覧ください。

<https://airborne-sys.com/wp-content/uploads/2016/08/ASG-RA-1-20170203-English.pdf>

5. 備品落下は6月29日～7月2日に予定されていた訓練中に発生したのか。

はい、7月2日に発生しました。

6. 訓練はどの航空機によって行われたのか。

降下訓練はUH-60ブラックホークヘリコプターによって行われました。